

コツが分かって楽しく勉強！ 桑折学習塾スタート

▶教育長の言葉で、受験への気持ちを引き締まる中学3年生



桑折学習塾（中学生対象）の開講式が6月17日、イコゼで行われ、今年度の学習がスタートしました。

3年生は、名城塾（福島市）の講師による「高校進学対策講座」に取り組み、1・2年生は、学習習慣づくりと意欲の向上を目的に、教育委

員会の指導主事、教員OB、福大生や一般のボランティアから勉強を教わります。

「勉強のコツが分かって良かった！」と毎年好評の本塾。参加者は随時受付中ですので、気軽に問い合わせてください。

園 教育文化課
582-2403

▶買い物客などに啓発用ティッシュを配る推進委員



社会を明るくする運動推進委員会および協力団体は、「社会を明るくする運動」強化月間・再犯防止啓発月間（7月）に併せ街頭啓発活動を7月7日、桑折駅をはじめ、醸芳中学校やウエルシア伊達桑折店、ブイチェー

町内で街頭啓発 「社会を明るくする運動」

ン桑折店で行いました。

当日は、のぼり旗を掲げながら通勤・通学者や買い物客に啓発用ティッシュを配布し、犯罪や非行の防止、立ち直りを支える地域社会を皆で築くための呼びかけを行いました。

広 告

好評開催中 脳トレ&認知機能チェック

今年度から、町職員や地域包括支援センター職員による出張脳トレ・認知機能チェックを行っています。

タブレットを使い、同じ図形を選んだり、ライトが光る順番を覚えたりとゲーム感覚で認知機能をチェックし

ます。参加者からは「普段と違う刺激があって面白い」「自分の苦手分野が知られてよかった」などの声が寄せられています。役場でも随時体験可能。出張依頼は、健康福祉課 ☎ 582-1134 まで問い合わせください。



▶定期的に認知機能をチェックし自分の状態を見える化しましょう



1_我如古アナウンサーと野菜クイズに挑む（6年生）
2_夢中でじゃがいもを収穫（6年生） 3_採りたてのきゅうりを手作りみそで味わう（1・2年生）

■放送日時 8月12日 田 17:00～（野菜クイズの様子）
8月26日 田 17:00～（収穫体験の様子）



▲「全部おいしい！」と町産食材を楽しむ児童たち

- ご飯（町産コシヒカリ）
- 牛乳（県産）
- ロイヤルピーチポークのバーベキューソースがけ
- ・豚（しまぎ牧場）
- ・ソース（あいはろ果樹園の桃ジュース使用）
- こおりっ子汁
- ・じゃがいも（町学校給食会）
- ・たまねぎ（町学校給食会）
- ・みそ（安齋醸造・JA加工部会）
- ・ねぎ
- ・油揚げ
- きゅうりのサラダ
- ・きゅうり（町学校給食会）
- ・キャベツ（町学校給食会）
- ・にんじん
- ・ツナ
- 桃ゼリー
- （県産桃果汁使用）

福島テレビの情報番組「サタふく」とJA全農福島がタッグを組み、県内の農畜産物の良さを視聴者の皆さんに再認識してもらおうと企画されたレギュラーコーナーの収録が7月11日、陸合小学校で行われました。

当日は、我如古梨乃アナウンサーが6年生の児童らとともに、野菜クイズに挑戦。JA全農福島若手チームから野菜や田んぼに関するクイズが出題され、熱戦が

繰り広げられました。日ごろから、野菜などを育てている児童らは、自らの経験を基に回答するなど、授業の成果を発揮していました。

その後、1・2年生による夏野菜収穫と6年生によるじゃがいも掘りが行われました。じゃがいも掘りでは、掘り方などを学びながらコンテナ3つ分を収穫。スコップで掘り返す度に姿を見せるじゃがいもに歓声を上げながら、農業の大変さや喜びを体感しました。

町自慢の食材を活用 「こおりっ子給食」で育む地元愛

町内の幼稚園、小中学校では7月14日、町産の食材をふんだんに活用した「こおりっ子給食」が提供されました。

幼少期から、給食を通して町産の食材に触れ、町の「おいしい」味わいを知ってもらい、郷土愛を育むために昨年度から始まった本事業。醸芳小学校6年2組の教室には、会田智康教育長が訪れ、味の感想などを話しながら、皆で楽しい給食の時間を過ごしました。

ロイヤルピーチポークには、町産の桃ジュースを使用したバーベキューソースをかけました。サラダやみそ汁には町産の野菜がふんだんに使われています。学校給食を通じて、食への関心や地域への愛着が深まってほしいです。

栄養教諭
江口梨絵さん

